

美ら島の文化継ぐ

第30回県中学校総合文化祭最終日

舞台
展示多彩に



第30回県中学校総合文化祭(主催・県中学校文化連盟)の最終日は8日、那覇市のアイム・ユニバースで、このホールを会場に行われた。「つなぎ続けて30年」をテーマにしたウミイと新たな風を「美ら島に」をテーマにした県内の中学生が郷土芸能や合唱、ダンスなどの舞台をはじめ、書道や絵画など各部門で日ごろの文化活動の成果を発表した。

午前中の舞台発表は与那国中学校による「与那国の郷土舞」で幕開け。笛や太鼓、鉦のリズムに合わせた迫力ある舞の姿を披露した。棒を担当した3年生の入慶田本朝香さん(15)は「初めての中文祭で、練習通り踊ることができた」と充実した表情を見せた。

那覇市立石嶺中学校合唱部18人は「僕らはいきものだから」「夕暮れの歌声」の2曲で思の合ったハーモニーを響かせた。3年生の大城拓海さん(14)は「こんなに大きな舞台は初めて、楽しく歌えた」と笑顔。

うるま市立与那志中学校1年比嘉日向里さん(13)、石川琉月さん(13)は展示部門の「沖縄方言新聞」を見ながら「沖縄の言葉を知りたかった。高齢者の方との交流で方言を守れることが分かった」と語った。

舞台いっぱい「大浜村豊の舞遊び」を踊った石垣市立大浜中2年の宮島信就さん(14)は「石垣代表として中文祭に参加することができた。みんなで勝ち取った代表なので、絆を信じて踊った」と満足そう。3年の黒澤かれんさん(15)は「3年間やってきた成果を上げることができた」とうれしそうだった。

「大浜村豊の舞遊び」で思の合ったパフォーマンスを披露する大浜中の生徒。8日、アイム・ユニバース。

第30回県中学校総合文化祭最終日



文化の産声 高らかに



この新聞は糸満市立糸満中の生徒が作りました!!
 (前列左から) 玉城海夢、玉城陽翔、殿内翔桃、
 知念晴珠、新垣叶奈
 (後列左から) 兼次一翔、平良寿将、窪田大志、
 上原朋己、兼次勇斗